

町の玄関、新松田駅で「おもてなし」を！



質問者
平野 由里子 議員

新松田駅北口について、トイレや休む場所がないなど、これまでも先輩議員の方々が一般質問に挙げてくださいました。おかげでコスモス館に休憩用の椅子が置かれたり、ロマンス通りにおいてみ処ができるなど、改善された部分もあります。しかし、両施設は常時開いているわけではなく、また、開いていても、休憩に使えることが周知されていないように思います。

また最近、JR松田駅南口の前に若者が群れていることが多々あり、周辺住民の悩みの種になってしまい、通行客も眉をひそめている事態です。「おもてなし」を掲げる

松田町にとって、利用客の利便性と風紀的な問題は、喫緊の問題だと思いますが、町の認識と対応をお聞かせください。

「おもてなし」を打ち出したことでやるべきことが明確に
回答（町長）

A



い。トイレ利用もコスモス館、町の駅に加え、大松園も可能になった。「新松田駅周辺まちづくり協議会」が立ち上がる所以、町民や駅利用者の意見を聞く場も設け、休憩施設についても検討する。

松田町の取り組みは



質問者
飯田 一 議員

コスモス館の営業時間延長は、地産地消の会と協議を続ける。休憩所利用可能な看板を明記し周知を徹底する。商工振興会には、店の軒先にベンチを置かないか打診して

社会構造の変化により超高齢化社会が到来し、この超高齢化社会の課題

① 平成25年に「松田町

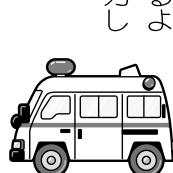
各種事業の充実 拡大に取り組む
回答（町長）

は、健康寿命日本一を目指す」と宣言されました。当町の取り組みをお伺いいたします。

① 現在の健康寿命延伸の取り組みと、今後の展開はどのようにお考えですか。



警察との合同パトロール



解決に向け、健康長寿の社会づくりが急務とされ、黒岩知事も「神奈川

は健康寿命日本一を目指す」と宣言されました。当町の取り組みをお伺いいたします。

① 現在の健康寿命延伸の取り組みと、今後の展開はどのようにお考えですか。

は健康寿命延伸に向け、高齢者への介護予防の推進、生涯現役社会の実現における検討・特定健診・がん検診の受診率向上等に重点的に取り組み、今後も「食・運動・社会参加」をキーワードに各種事業を充実拡大を進める。

番に通報し、救急車が到着するまで、早くても15分から20分かかります。万が一のときの一分一秒

は、病人やその家族について非常に不安と焦燥を感じることと思います。到着時間の短縮と緊急患者の搬送時間の短縮について、改善の可能性をお伺いいたします。

時間の短縮については、「カーナビシステム」や救急車の位置情報により無駄なく到着できる。寄地区の他地区と異なる対応は、到着後、救急隊長が、患者の通院している病院、治療可能な病院等の確認を行い、国道246号に合流するまでには、搬送先の病院が決定されている。少しでも早く到着・搬送できるよう努めています。